

名古屋ごみレポート '21 版

シヤチのジュンちゃん



令和4年3月
— 名古屋市環境局 —

目次

| | |
|---|-----------|
| はじめに | 1 |
| 第1章 ごみ・資源の推移 | 2 |
| 1 ごみ処理量の増加と「ごみ非常事態宣言」 | 2 |
| 2 ごみ・資源の処理量とその推移 | 4 |
| (1) ごみ処理量等の推移 | 4 |
| (2) ごみ処理量の内訳 | 5 |
| (3) 資源分別量の内訳 | 6 |
| (4) 埋立量の内訳 | 9 |
| (5) 1人・1日あたりの量 | 9 |
| (6) 他都市との比較 | 10 |
| (7) ごみ処理の仕組み | 11 |
| (8) 資源のゆくえ | 12 |
| (9) 分別された資源はこのように生まれ変わります！ | 14 |
| 第2章 ごみ処理・資源収集等に伴う環境負荷と処理コスト | 15 |
| 1 ごみ処理・資源収集等に伴う環境負荷 | 15 |
| (1) 二酸化炭素(CO ₂)排出量 | 15 |
| (2) 環境負荷物質の排出量 | 15 |
| 2 ごみ処理・資源収集等に伴うコスト | 16 |
| (1) 処理経費の推移 | 16 |
| (2) ごみ処理・資源収集等の単価 | 17 |
| 第3章 ごみ減量に向けての現状と課題 | 18 |
| 1 名古屋市第5次一般廃棄物処理基本計画 | 18 |
| (1) 基本理念 | 18 |
| (2) 基本方針 | 19 |
| (3) 主な目標値 | 19 |
| (4) 品目別の主な取り組み内容 | 20 |
| (5) 進捗状況 | 22 |
| 2 ごみと資源の分別状況と今後の課題 | 23 |
| コラム① 3Rの意義 | 25 |
| コラム② 拡大生産者責任とは | 25 |
| コラム③ 容器包装リサイクル法 | 26 |
| 第4章 循環型社会に向けた取り組み | 27 |
| 1 基本理念に基づく主な取り組み | 27 |
| (1) 協働 ～3Rの取り組みを支える持続可能な仕組みづくり～ | 27 |
| (2) 2Rの推進 ～「もったいない」の心でごみも資源も元から減らす～ | 28 |
| (3) 分別・リサイクルの推進 ～ごみも資源も分けて生かす～ | 33 |
| (4) 環境に配慮した施設整備 ～将来にわたり持続可能な処理・処分体制を確保する～ | 36 |
| コラム④ 名古屋市のこれまでの取り組み | 37 |

はじめに

約 20 年前、本市はごみ処理量が右肩上がりに増加する中、渡り鳥の重要な飛来地である藤前干潟の埋立計画を断念し、平成 11 年 2 月に「ごみ非常事態宣言」を公表しました。地域役員の方々の献身的なご尽力も賜りながら、市民・事業者との協働による徹底した分別・リサイクルに取り組んだ結果、大幅なごみ減量を達成することができました。

その後も、ごみ処理量は大きなリバウンドもなく緩やかに減少し、「ごみ非常事態」を脱し、名古屋に分別文化が根付いたと言われるまでになりました。

「ごみ非常事態宣言」以降、ごみ処理量は約 4 割減、埋立量は約 9 割減となるとともに、分別・リサイクル中心のごみ減量施策から歩みを進め、「ごみも資源も元から減らす」発生抑制の取り組みを進めてきました。しかしながら、平成 23 年度に実施した容器包装以外のプラスチック製品の分別区分変更以降、プラスチック製・紙製容器包装の資源分別率が低下し、ごみ処理量は横ばいの状況が続くなど、さらなる取り組みの推進が必要となっています。

こうした状況を踏まえ、平成 28 年 3 月、市域内の一般廃棄物の処理について定める「第 5 次一般廃棄物処理基本計画」を策定し、「市民・事業者・行政が共に学び、共に行動し、持続可能な循環型都市をめざします。」という基本理念に基づき、市民・事業者との協働をベースに、「2R（リデュース・リユース）」や「分別・リサイクル」に取り組んでいるところです。

「ごみ非常事態宣言」から 20 年以上が経過した今、新型コロナウイルスの感染拡大により、ライフスタイル・ビジネススタイルが大きく変化しています。ごみ・資源の排出においても、家庭からの排出が増加する一方、事業活動からの排出が大幅に減少するなどの変化が現れています。

また、プラスチックごみによる海洋汚染が世界的な課題となっており、令和 4 年 4 月にはプラスチック資源循環促進法が施行されるなど、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて、様々な社会情勢に対応した課題に取り組んでいく必要があります。

この「名古屋ごみレポート'21 版」は、「ごみ非常事態宣言」後の取り組みの成果をご報告するとともに、今後の循環型社会の実現に向けた取り組みについてとりまとめています。

本書が、本市のごみ・環境問題に対する皆さまのご理解とご関心を深めるうえで少しでも役立ち、「環境首都なごや」を実現していく一助となれば幸いです。

名古屋市環境局

▶持続可能な開発目標（SDGs）

SDGs とは 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成されています。

目標 12. 「つくる責任 使う責任」において、廃棄物の削減や再利用などを定めており、持続可能な社会の実現のためにごみ削減も深く関わっています。

